

わくわくとしょかん

第134号(2015年冬号)編集発行:福島市立図書館児童室 でんわ531-6551



12月19日(土) 2じ~3じ30ぷん
ばしょ: 3かい かいぎしつ

~4さいから小学生のおともだちへ~

にんぎょうげき したきりすすめ

おおがたかみしばい ハガネの歯

ブックトーク たからもの

こうさく キラキラ★万華鏡をつくろう!

※駐車場には限りがございます。公共交通機関をご利用ください。



おはなしかいのお知らせ



どうようびのおはなしかい

- ※まいしゅう どうようび
- 🕒 2じ~
(4さいからしょうがくせい小学生)
- 🌟 1かい じどうしつ

おひざにだっこのおはなしかい

- ※まいつき だい3もくようび
- 🕒 10じ30ぷん~
(3さいまでおこさんとほごしや保護者)
- 🌟 1かい じどうしつ

ファミリーえいがかい

- ※まいつき だい2にちようび
- 🕒 2じ~
- 🌟 3かい かいぎしつ



12月



としょかんカレンダー



1月



日	月	火	水	木	金	土
		①	2	3	4	5
6	7	⑧	9	10	11	12
13	14	⑮	16	17	18	19
20	21	⑳	23	24	25	26
27	28	29	30	⑳		

日	月	火	水	木	金	土
					①	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	⑫	13	14	15	16
17	18	⑰	20	21	22	23
24	25	⑳	27	28	29	30
31						

□…市立図書館のおやすみです。

○…子どもライブラリーのおやすみです。

※その他の学習センターについては各図書室にお問い合わせください。

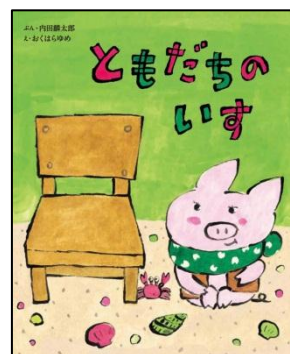


あたらしいほん



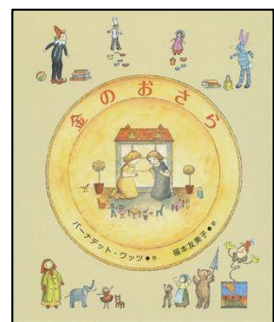
E (えほん)

『ともだちのいす』 (E オクハ)
内田麟太郎／ぶん おくはらゆめ／え
くもん出版



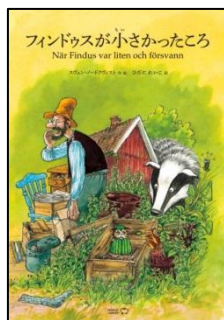
こぶたのトンちゃんは、いすをつくりました。ともだちがほしいから、いすのなまえは、ともだちのいす。はまべにいすをおいて、トンちゃんがうみをみていると、だれかやってきます。さてトンちゃんに、ともだちできるかな？

『金のおさら』 (E ウオツ)
バーナデット・ワッツ／作 福本友美子／訳
BL出版



イザベルは、仲良しのエリーがもっている人形の家がうらやましくて、飾ってあった金のおさらを内緒で持ち出しました。家に帰って自分の人形の家に置いてみますが、きれいだったはずの金のおさらがちがってみえます。女の子の心の動きを、あたたかい目線で描いた絵本。

『フィンドゥスが小さかったころ』 (E ノルド)
スヴェン・ノードクヴィスト／作・絵 ひだにれいこ／訳
ワールドライブラリー



あるところにペットソンさんというおじいさんがいました。ときどきさびしくなるペットソンさんは、ネコをかうことにしました。名前はフィンドゥス。ずっと話しかけていたら、なんとフィンドゥスがしゃべりだします。楽しい絵にも注目。

Y (よみもの)

『たぬきがくるよ』 (Y913 タカシ)
高科正信／作 寺門孝之／絵
BL出版



山にどんぐりを取りに行き、ころがり落ちたらそこはリスのおうち。タコのすべりだいをすべっていたら、タコといっしょに海の中。まっくらなおしれにはせなかが燃えたタヌキが。わかばちゃんの迷いこむふしぎな3つのおはなし。

『ふしぎなコウモリガサ なのだのノダちゃん』 (Y913 キサラ)
如月かずさ／作 はたこうしろう／絵 小峰書店



雨の日のかえりみち、サキちゃんが路地裏で出会ったのは、黒ずくめの服を着たちょっと変わった女の子・ノダちゃん。トマトがだいすきで、十字架がにがて。魔女やコウモリが友だちだなんて、ノダちゃんって、もしかして…？

『イスタンブルで猫さがし』 (Y913 シンド)
新藤悦子／作 丹地陽子／絵 ポプラ社



愛はトルコのイスタンブルに住む小学5年生の女の子。ある日、日本語学校の図書室で不思議なメモを見つけます。そのメモをきっかけに、トルコにしかいない、白くて瞳の色が緑と青の美しい猫探しが始まります。

B (そのた)

『夢はどうしてかなわないの？』 (B15 オオノ)
大野正人／作 中川学／絵 出口保行／監修
汐文社



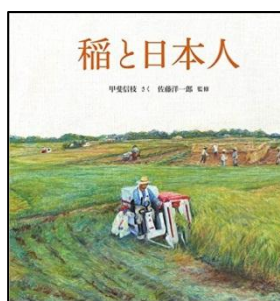
夢とは、心にうかぶワクワクするような自分のみらいのこと。でも、夢はねがうだけではかきません。3人のこどもたちの、夢へとむかうぼうけんの旅を通して、夢の正体と、夢をもちつづけることの大切さを伝えてくれます。

『ダンボールで作るおもしろ自動販売機』 (B75 ダンボ)
大野萌菜美／監修 ブティック社



ダンボールで自分だけのオリジナル自動販売機が作れちゃう！ 使う道具と材料、図面、作業工程、デコレーションを写真でわかりやすく解説します。自由研究や工作の宿題にも活躍する一冊。

『稲と日本人』 (B61 カイノ)
甲斐伸枝／作 佐藤洋一郎／監修 福音館書店



今から二千年以上も昔のこと、日本に稲作が伝来し、それまでの日本人の暮らしが大きく変わりました。人々は水田を作り、お米を食べるようになります。この本では、日本人の食生活に深くかかわる稲の歴史をイラストを交えて紹介しています。

